JAひがしかわコミュニティ誌

マイ東川米タウン

Agriculture, people and healthylife-JA HIGASHIKAWA

[コラボ de JAひがしかわ]

豊作を日々たゆまず祈り、感謝する

～北海道神宮神饌田創設40年を前に、設立当時の様子を尋ねて～

JAひがしかわ

2017 Winter, vol.20

[コラボ de JAひがしかわ]

豊作を日々たゆまず祈り、感謝する

～北海道神宮神饌田創設40年を前に、設立当時の様子を尋ねて～

佐々木篤美（しんせんでん）さん（東川神社宮司）

●佐々木篤美さん（東川神社宮司）
昭和24年東川町生まれ。國學院大學文学部神道学科（現・神道文学部）にて学び、東川神社宮司となる。

平成30年は東川町にあります北海道神宮神饌田（しんせんでん）（東2号北1番地）創設から40年の節目を迎えます。北海道神宮の神様にお供えするお米を作っているこの田んぼでは毎年5月に田植のお祭り「御田植祭（おたうえさい）」、9月には収穫のお祭り「抜穂祭（ぬいほさい）」が行なわれます。東川神社宮司として長年この神事に携わってこられた佐々木篤美宮司に東川神社についてのお話と、神饌田設立当時のお話をお聞きしました。

東川神社と宮司のお仕事

東川神社は明治33年（西暦1900年）小さな社が建立されたところから始まりました。東川神社では天照大御神（あまてらすおおみかみ）を主祭神とし、大己貴神（おおなむちのかみ）、少彦名神（すくなひこなのかみ）を祀っており、社殿には御神体として鏡が祀られています。

宮司の仕事は、毎朝御日供（おにっく）として神前のお供えを行い、氏子さんたちの平安を祈念します。また、社殿や境内のお掃除も毎日の仕事として行ない、地鎮祭やお祓い等も行ないます。主に神様のお世話と皆さまの平安をお祈りする事がお仕事です。

北海道神宮神饌田（しんせんでん）のお話

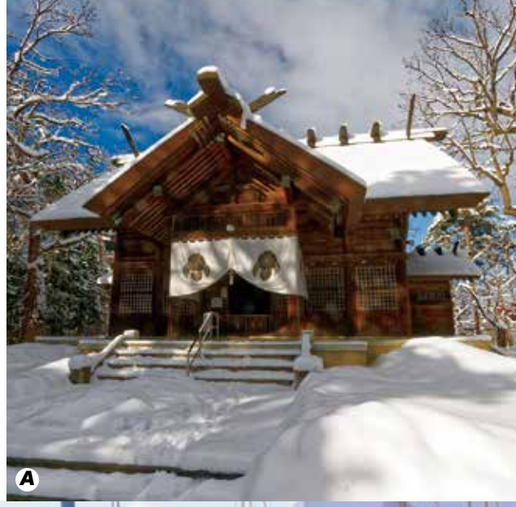
東川町に北海道神宮の神饌田（しんせんでん）が創設されたのは、昭和54年（西暦1979年）の事でしたので、平成30年（西暦2018年）に行なわれる御田植祭（おたうえさい）と抜穂祭（ぬいほさい）で40回を迎えます。北海道神宮での御田植祭・抜穂祭の神事は戦後以降途絶えていましたが東川町で神饌田を設け、復活する事になりました。当時は北海道神宮にも資料が少なく、ほとんど手探りで神事を復活させました。

御田植祭や抜穂祭で氏子さんたちによって歌われる田植歌や抜穂歌も東川町に相応しい詞をということで当時の北海道神宮の故前田勝也宮司により考えられ、実際に田植・抜穂を行なう早乙女（P2写真参照）の奉納の振り付けは、様々な地域の神事を参考にして復活させました。

斎庭（ゆにわ）の稲穂の神勅（しんちょく）※として私たち日本人は与えられた稲穂に感謝し、豊稔を祈願する「御田植祭」、豊稔に感謝し神様に初穂をお供えする「抜穂祭」は私たち日本人にとって大事な行事です。北海道の米どころ東川町に住む皆さんも、ぜひ一度見に来てください。

※斎庭の稲穂の神勅
天照大御神が、米を食べて国民を豊かにするようにと稲穂を授けた際の神話（日本書紀より）

A.東川神社本殿
B.巫女による神楽舞
C.田起こしの儀
D.豊稔踊り
E.神降の儀
F.玉串奉納


A

B

C

D

E

F

東川神社
〒071-1425
上川郡東川町西町1-6-1
PHONE　0166-82-2513
FAX　0166-82-2536

［JAトピックス］から
素敵なプレゼント
詳しくは裏表紙をご覧ください。

北海道神宮神饌田創設40年を前に

知っておきたい！神饌田の Q&A

北海道の米どころ・東川町では、北海道内で唯一、北海道神宮にお供えするお米を作っています。ここではあまり知られていない神饌田についての疑問や祭壇の様子を説明します。

「神饌田（しんせんでん）」って何ですか？

「神饌（しんせん）」とは神様のお食事の事、いわゆるお供えを言います。神様のお食事となるお米を育てる田んぼなので「神饌田」といいます。

東川町には、北海道神宮の神饌田が東２号北１番地にあります。

「御田植祭（おたうえさい）」って何ですか？

神饌田で育てられるお米とみんなが育てるお米の豊作をお祈りして、地域で最初に稲の苗を植える神事のことです。

毎年５月上旬頃に行なわれます。

早乙女と呼ばれる女性たちの手により、最初の苗が植えられます。

「抜穂祭（ぬいぼさい）」って何ですか？

神饌田で収穫された最初のお米（初穂）を神様にお供えし、一年間の無事と豊作に感謝を捧げる神事のことです。

毎年９月上旬頃に行なわれます。

早乙女と呼ばれる女性たちの手により、最初の稲が刈り取られます。

神様も召し上がる「東川米」

「東川米」は、北海道神宮に奉納され神様のお食事「神饌」として新嘗祭（にいなめさい）（毎年11月23日）で供される「神様も召し上がるお米」です。

新しい神饌田の創設には『道内の米どころである事』『水が清らかである事』『20a 程度の水田を提供できる事』等の条件がありました。東川町の環境は明治 29 年から稲作に取り組んでいる「道内有数の米どころ」であり、全戸地下水の町であり大雪旭岳源水に恵まれた「清らかな水の町」である事等はまさにその条件にぴったりの環境でした。

そのような経緯を経て当時の東川町農業協同組合ならびに東川町行政、有志の方々の尽力によって東川町での「北海道神宮神饌田」の創設が実現しました。以来 40 年間、私たちは神様も召し上がる「東川米」を大切に育てています。

目印は
この米袋 !!

この「東川米」は全道各地のコープさっぽろを初めとしたスーパー各店、首都圏でも積極的に販売されています。

神様の恵みであり、東川町の農家さんたちが大切に守ってきた「東川米」を、ぜひ美味しく召し上がってください！

初詣の基礎知識を佐々木宮司に尋ねました。

初詣はいつまでに行けばいいですか？

基本的には1月7日の松の内までに行けば大丈夫です！

どんな事をお祈りすればいいですか？

家内安全や豊作祈願、商売繁盛はもちろん、個人的なお祈りでも大丈夫です。

東川神社の初詣の見どころは？

東川氷土会の方たちが毎年作ってくださる、氷彫刻の灯篭と干支（えと）の像は東川神社ならではです。一度見に来てください！

ジュニア野菜ソムリエ
当JA職員「なべこ」こと
渡辺奈保子がお奨めするレシピ
No.20

「わさび菜と生ハムのフレッシュサラダ」

所要時間5分　1人分　63kcal　（ドレッシングは含みません）

今が旬のわさび菜には、βカロテン（ビタミンA）を初めとしてビタミンB2、ビタミンCが豊富に含まれており、ピリッとした辛みを持っているのが特徴です。

この辛みはアリルイソチオシアネートという成分（からしの辛み成分）であり、抗菌作用があると言われています。

INGREDIENTS

4人分
わさび菜 /120g
レタス /100g
カラーピーマン /40g
生ハム /2枚
スライスチーズ /2枚
お好みのドレッシング /適量

PROCESS

1. カラーピーマンは薄くスライスし、その他の材料は食べやすい大きさにちぎります。
2. レタス、わさび菜の順で皿に盛り、カラーピーマン、スライスチーズ、生ハムで彩りを添えます。
3. お好みのドレッシングを掛けて完成です。

●東川町のわさび菜

9月下旬～4月頃まで出荷されており、東川町の寒暖差のある気候によりハウス栽培であってもアクセントとなる辛みをしっかりと感じる事ができます。

●わさび菜の調理方法

わさび菜の魅力は、なんと言ってもその辛みにあり、食卓へ彩りを添えるサラダで生食していただくのがオススメです。

また、おひたしやゴマ和え等でいただくのも美味しく召し上がれます。

辛み成分が苦手な方は、一度火を通すと辛みが和らぎます。

食育の日、金巻JA女性部長と共に給食を食べる

学社連携推進協議会のお話し

町内全ての子どものために

東川町学社連携協議会　地域交流センター所長
菅沼輝男氏に聞く

平成27年3月に発足した「東川町学社連携協議会」には当JAも構成団体として名を連ねており、当JA青年部・女性部・フレッシュミズの方々にも、日々のお忙しい業務の合間を縫って精力的に協力を頂いております。その目的の中には「農業体験や農業教育、食育の機会を東川の児童に提供する」とあり協議会発足以来これまでも様々な活動を支援していただきました。

本年は女性部による東川町内小学校での「食育の日」事業を始めとして学童保育の手作りおやつの提供活動等も行なわれています。

学社連携協議会事務局であり、地域交流センター所長の菅沼輝男氏に学社連携協議会についてお話をお聞きしました。

「JAひがしかわや青年部、女性部、フレッシュミズの方々には当協議会の様々な活動にご理解いただき協力していただいている事にいつも感謝しております。

学社連携協議会の会員の皆さまには主に『作業班』と『食育班』の2班構成で活動をしていただいております。作業班の方々は地域の農業者さんやJA青年部と女性部の方たちを中心に学校田での田植え・稲刈りや体験農園での種まき・収穫などの活動で子どもたちに土に触れる事を通した農業教育を行なっています。食育班の方々はJA女性部とフレッシュミズの方たちを中心に子どもたち自ら学校田で収穫された米や野菜の調理を通して食育の活動を行なってきました。

学童保育のおやつについても元々は学童保育の児童に市販のおやつではなく、手作りの栄養価があるおやつを提供したいというところから始まり、有償でおやつ作りを行なっていましたが、協議会の会議の中でJA女性部長金巻富士枝さんからお申し出があり、10月から毎月1回のボランティアをお願いする事にしました。フレッシュミズの皆さんにも毎年味噌作りや餅つきなどのイベントを企画・運営していただき参加募集を行なうと毎回すぐに定員に達してしまうほどの人気があります。

学童保育の手づくりおやつ「新米」むすび

地域交流センターの廊下には様々な思い出の写真たちが並ぶ

当協議会は、町内全ての子どもたちのために開かれた場を目指しています。

私たちの思いとしては体験農園にはたくさんの子どもたちにいつでも遊びに来て欲しいと願っています。

また、地域の人たちにも子どもたちのために何かしたい、こんな企画はどうだろう等アイデアのある方や協力していただける方をいつでもお待ちしております」

学社連携協議会や体験農園についてのお問い合わせは、東川町地域交流センター（東川町西4号北8番地）82-5900菅沼まで。

どんと、どんと プレゼント!

今回は平成29年度産新米の「東川米ゆめぴりか」と交換できる引換券を合計20名さまにプレゼント。
応募方法は次の2通り。皆さんふるってご応募ください!
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます

官製ハガキでチャンス!

ご希望の方は官製ハガキに以下の内容を記入のうえ、平成30年1月31日まで（消印有効）にご応募ください。
■宛先　〒071-1495　東川町西町１丁目５番１号
JA ひがしかわ「東川米（マイ）タウン」プレゼント係
■記入事項　○「東川米（マイ）タウン」へのご意見・ご要望　○郵便番号
○住所、氏名、性別、年齢、世帯主　○電話番号
※1世帯につき1枚のご応募とさせていただきます

ご利用でチャンス!

下記の期間中に対象となる事業をご利用いただいた方に応募券を差し上げます。必要事項を記入の上、当JA職員にお渡しください。
■期　　間　平成29年12月23日から平成30年1月31日
■対象となる事業　○自動車のご購入　○車検のご利用　○タイヤのご購入
○オイル交換のご利用　○JAローンのご利用(住宅・マイカー・教育ほか)
○准組合員へのご加入　○IZA カードの新規ご契約
○JA カードの新規ご契約

第19号（2017.Autumn）「官製ハガキでチャンス!!」のプレゼントに、たくさんのご応募ありがとうございました!

読者の声

第19号（2017.Autumn）で「官製ハガキでチャンス!!」プレゼントに多くのご応募・ご意見をありがとうございます。皆さんからの「お声」をご紹介します。

●米づくりと映画づくりに共通する事が興味深かったです。
その他にも地元の生産物をPRする活動が紹介されていたり地元愛にあふれているので後押ししたくなる内容でした。（60代、女性）

◆写真甲子園特集号を読んでいただき、ありがとうございます。
これからも「東川米」「ひがしかわサラダ」の応援よろしくお願いします!

●「写真甲子園 0.5秒の夏」早速チケットを購入しました。
東川のきれいな町並みを映画を通して見られるのを楽しみにしています。（60代、男性）

◆映画はもうご覧になられたでしょうか?
ぜひ感想を聞かせてください♪

●はじめまして、私は先日旭岳のホテルに泊まり「東川米タウン」に出会いました。
東川は美味しい東川米、清らかな水、写真甲子園で有名ですね。
映画をぜひ見たいと思いました。

◆はじめまして!
映画をみたらきっと「東川米」を食べたくなると思います!
旭岳の恵み「大雪旭岳源水」も販売しているので、一度飲んでみてください♪
とっても美味しいお水です!

●「東川米」は平成24年5月に、北海道のお米では初めて地域団体商標登録されました。
本コミュニティ誌「東川米（マイ）タウン」は、「東川米」ブランドと、わが町「マイタウン」を掛　けてネーミングしました。

JAの組合員になりましょう!!

東川町内にお住まいで当ＪＡの各事業をご利用いただける方は准組合員になれます（1口1,000円から。但し出資金には上限があります）。
町外にお住まいでも一定の要件を満たすことでご加入いただけます（例：灯油の定期配送、プロパン、車検のご利用など）。

ご融資・ローンを 組合員向けの金利に!
組合員金利が設定されている商品に限ります

がん検診を助成!
指定病院に限ります。一部検査は助成の対象外となります。准組合員の場合はご本人のみ対象となります。

スタンド給油券もしくはホクレンショップ商品券などの
粗品をプレゼント
1,000 円相当

当JAの業績に応じて 出資配当も!
平成28年度の配当率は1.5%。但し配当の有無・配当率についてお約束するものではありません。

問い合わせはＪＡひがしかわ管理課
0166-82-2121まで

●季刊東川米タウン　第20号　2017年12月23日発行
●発行元/JAひがしかわ営農販売部　営農課　〒071-1495 上川郡東川町西町1丁目5番1号　TEL.0166-82-2124　●発行人/樽井　功
●デザイン・印刷/公園前グラフィクス